

三重県視聴覚ライブラリー

おすすめ

平和教育作品のご案内

視聴覚ライブラリーでは県内の団体（学校・自治会・公民館など）に向け
視聴覚教材や機材の貸出を行っています。

特に教材については全て著作権処理済み（団体上映権・団体貸出権付帯済み）の
作品を取り揃えていますので、安心して無料でご利用いただけます。



録画や録音など著作権法に触れる場合、営利目的や特定の政治活動および宗教活動にはご利用いただけません。



2026.6

ドキュメンタリー作品

α717『広島原爆 魂の撮影メモ 映画カメラマン 鈴木喜代治の記した広島』（28分）

幻の原爆映画と言われた原爆被災映画『広島・長崎における原子爆弾の影響』。この映画の生物班の撮影に携わった、カメラマン鈴木喜代治が記した一冊の撮影メモから、当時の広島の惨状と平和の尊さを伝えます。

映画作品

α698『折鶴 想いやりと希望』（25分）

アメリカに引っ越してきたさとしは、学校になじめない毎日を過ごしていました。ある日、折鶴の折り方を教えたことをきっかけに、近所に住む退役軍人のリチャードに誘われてハワイでの平和式典に参加します。そこで広島で被爆し、病床で鶴を折り続けた少女・佐々木禎子の折り鶴に出会います。平和を願い続けた禎子の想いを知ったさとしは、勇気をもって新たな一歩を踏み出します。

【短編映画・日本語字幕（吹き替えなし）・一部日本語（英語字幕）】

α699『涙に浮かぶ記憶 戦争を次世代へ伝えて』（28分）

第34回全国中学生人権作文コンテスト 法務大臣賞を受賞した「戦争を次世代へ伝えて」をもとに映画化された作品。ある中学生が曾祖父をはじめとした戦争経験者の話を聞きながら戦争の足跡を資料映像で辿っていく。【日本語字幕あり（吹き替えなし）】

アニメ作品

d166『いわたくんちのおばあちゃん』（20分）

運動会の日、みんなで記念写真を撮ろうとすると、いわたくんちのおばあちゃんは「イヤーよ」と笑って断ります。その理由は、戦争の時の辛い体験にありました。主人公の寛太は、おばあちゃんの話聞くうちに原爆のことや戦争のことを自分の問題としてとらえ、平和への決意をしています。

d184『一つの花』（13分）

太平洋戦争の真只中、食べ物にも不自由な時代、「一つだけ、ちょうだい」が口癖のゆみ子が、出征するお父さんから最後に「一つだけ」もらったものは…。小学校4年生の教科書にも掲載の作品。



三重県生涯学習センター

TEL: 059-233-1151

FAX: 059-233-1155

- 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234
三重県生涯学習センター3階 事務室
- ホームページ: <https://www.center-mie.or.jp/manabi/library>
- 開館時間: 9時～19時
- 休館日: 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）・年末年始

ホームページ
教材検索

